

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	松原市公共下水道事業(その2)(重点計画)					重点配分対象の該当	○							
計画の期間	平成27年度	～	平成31年度	(5年間)										
交付対象	松原市													
計画の目標	本市公共下水道は、昭和45年度に大和川下流西部流域関連公共下水道として着手し、昭和60年に供用開始を行った。以降、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を目的として、市街化区域での整備を図ってきており、平成25年度末において普及率は93.6%に達している。しかし、未だ汲取り便所等の未普及地域からは、早期公共下水道整備のニーズが高く、引き続き普及促進を進めることが急務となっている。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,187	A	1,187	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%	0

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現状値及び目標値								
		当初現状値	中間目標値	最終目標値	当初現状値	中間目標値	最終目標値							
		1127当初	1129末	1131末	1127当初	1129末	1131末							
1	下水道普及率が94.0%(1127年度当初)から96.0%(1131年度末)に増加 下水道普及率 H26.10時点 行政区画内人口 123,024人 下水道普及率/行政区画内人口×100%	94%	95%	96%	1127当初	1129末	1131末							

備考等	個別施設計画を含む	国十強弱化を含む	定住自立圏を含む	連携中核都市圏を含む	流域水循環計画を含む	地域再生計画を含む
-----	-----------	----------	----------	------------	------------	-----------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期
 事後評価の実施体制
 松原市上下水道部内にて評価を実施。

事後評価の実施時期

令和2年4月

公表の方法

松原市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

下水道普及率の目標値を達成したことにより、市内における生活環境衛生の保全と公共水域の水質改善に寄与した。

定量的指標に関連する
 交付対象事業の効果の発現状況

定量的指標以外の交付対象事業の
 効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

引き続き未普及地域の普及促進を図る。

